

平成30年度 第1回 東海村子ども・子育て会議 議事録

会議名等	平成30年度 第1回 東海村子ども・子育て会議
日時	平成30年6月20日(水) 14:00~16:00
場所	東海村役場 原子力視察研修室
出席者	東海村子ども・子育て会議委員 13名 事務局 5名
資料	<p>【事前配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料1】 幼児期の教育・保育の確保に関する状況</li> <li>・【資料2】 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況</li> <li>・【資料3】 「第2期東海村子ども・子育て支援事業計画」策定のための事前調査スケジュール(案)</li> <li>・【資料4】 平成27年~平成31年「子ども・子育て支援事業計画」策定前ニーズ調査</li> <li>・【資料5】 県内他市町村における保育士確保に向けた取り組み(平成30年度)</li> </ul> <p>【当日配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料1-1】 平成30年度幼児期の教育・保育の確保に関する状況について</li> <li>・【資料2-1】 平成30年度東海村学童クラブ児童数</li> </ul>
<p>1 開会</p> <p>2 福祉部長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 幼児期の教育・保育の確保に関する状況について</p> <p>【委員】 入所希望を限定している理由には何があるのか？</p> <p>【事務局】 1番の理由は自宅から近いことや通勤途中であることなど、通園の便利さである。保育内容や保育サービスについては、次の希望理由となる。</p> <p>【委員】 1・2歳児の入所待ちの内訳はどうか？2歳児が多いのであれば、今年度より始まった一時預かり事業幼稚園型Ⅱで対応できないか。</p> <p>【委員】 入所待ち児童の年齢の分布がわかれば、施設の方でも対応を議論できるのではないか？</p> <p>【事務局】 (平成30年4月~6月における、0歳から5歳の入所待ち数内訳を報告) 1歳児が一番多い状況である。</p> <p>【委員】 育休がとりやすくなったが、1歳児になると保育園の入所が難しくなってくるのがわかった。働</p>	

く女性との関連はどうか？

**【事務局】**

1歳児に入所希望が集中する。そのため、育休からの復帰を早め、0歳児のうちから入所しようとする人が増えてきている。

**【委員】**

同じ1歳児でも子どもの発育状況は違うはず。現場の調整ができていますか？

**【事務局】**

部屋の広さや保育士の数で決まる定員はあるものの、子どもの発達に合わせた保育を行って頂いている。また、入所調整においてもその点について配慮している。

**【委員】**

入所待ちをしている人は、希望通りではないから待っているのか。1歳児の入所待ちが多いが、枠はあるのか？

**【事務局】**

年齢による。入所できる園はあるが、希望と合致していないことにより待っている場合もある。1歳児は、枠自体も不足している。

**【委員】**

待機児童とその他の入所待ち者の違いは何か。定義があるのか？

**【事務局】**

いわゆる「待機児童」には定義がある。利用できる園があるが、個人的な理由により入所したい園を限っているような場合はカウントされない。

**【委員】**

つまり、入所待ち児童とは、入所できなくても特に困っていない人で、どこでもいいから入所できないと生活できない人ではないという考えでよいか。

**【事務局】**

入所待ち児童の保育の必要度には差がある。認可外保育施設や幼稚園の一時預かり等を利用しながら希望の施設への入所を待っている方もいる。

**【委員】**

入所待ち児童を0人にするための施策を村が考え、事業者ができることがあれば投げかけて欲しい。

**【事務局】**

「待機児童」の定義にあてはまるかどうかに関わらず、同様に対応を考えている。

**【委員】**

幼児教育の無償化によりますます待機児童に関する問題は深刻化していくだろう。不公平間がないように対処していくべき。

## (2) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について

### 【委員】

児童虐待の担当課は子育て支援課か？

### 【事務局】

子育て支援課において要保護児童対策協議会を開催し、関係機関等と連携しながら取り組んでいる。

### 【委員】

一時預かり事業（一般型）が減っているのは、利用希望者が少ないということか。

### 【事務局】

保育士の不足により、事業の実施を一時的に縮小したりしているためと考えられる。

### 【委員】

ファミリー・サポート・センター事業（以下「ファミサポ」という。）の検討状況は？

### 【事務局】

未検討であるが、「すくすく」という同様の事業を社会福祉協議会で実施している。

### 【委員】

夜の時間など、保育園が開所していない時間にファミサポを活用されている方もいると聞いている。

### 【委員】

茨城県母子寡婦福祉連合会の日常生活支援事業として、同じような事業を行っている。

支援ができる方と、支援を必要としている方が登録し、マッチングさせているが、支援者の登録が少なく、マッチングが難しい状況である。

### 【委員】

当日、急な要望に応えられるものか。

### 【委員】

急な要望に応えるのは難しい。支援者に登録している方も他に仕事を持っていたりする。

また、支援者として登録するには、一定の資格が必要であるため、支援者が不足している。

マッチングには苦勞しているが、非常に多くの方が利用している。

## (3) 第2期東海村子ども・子育て支援事業計画策定に係る利用希望把握調査について

### 【委員】

調査内容については今後の会議で検討していくということによろしいか。また会議スケジュールは資料のとおり予定している。

#### (4) 保育の確保策（保育士確保策）について

##### 【委員】

遠方から就職した保育士がおり、家賃手当を支給しているものの生活するのは大変そうだ。労働に対する対価が低く、資格があっても保育士として働くことを選ばない人も多いと思う。

茨城県で保育士確保に向けた施策を展開できないなら、市町村で進めていくべきである。

##### 【委員】

保育士がいれば、充実できる事業がある。

家賃補助や給与上乘せ等の保育士確保施策で保育士を確保できれば、待機児童や入所待ち児童も減っていくと思う。

##### 【委員】

家賃補助の場合、東海村の住民税等の増収にもつながるメリットがある。また、家賃補助の対象外となってしまう人のために給与の上乗せもあると良い。

ただし、広域入所において近隣自治体と連携していることを考えると、足並みを揃えることも必要かと思う。

##### 【委員】

保育士確保策を行い、また、その施策についてアピールできるといい。

##### 【委員】

家賃補助にしても給与上乘せにしても、近隣自治体との取り合いになるため、将来を見据えた人材確保につながるような、就学資金の援助も1つではないか。

##### 【委員】

保育士の確保が、保育所を利用できる方が増えることにつながると思うため、取り組んでいってもらいたい。

また、ファミサポについても、自分のように必要としている方がいるのではないか。検討して欲しい。

##### 【事務局】

ご意見感謝する。広域の問題も懸念するところであるが、保育士確保施策の必要度を感じたので、前進させていきたい。

以上